浜辺の女 (1946)

THE WOMAN ON THE BEACH

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 71分
初公開日 1988/04/23
公開情報 I P

【解説】

久しく未公開であったが、ハリウッド期のルノワールの再評価の気運に乗って製作から40年を経て日本でも陽の目を見た、フィルム・ノワールの異色作だ。ルノワールはナチを逃れアメリカに渡り、本作を最後に母国フランスへ帰った。全篇、悪夢のような捉えどころのない語りと映像で、画家の妻ペギー（ベネット）に惹かれた沿岸警備隊員バーネット（ライアン）の恋と、彼女の盲目となった夫トッドとの葛藤が描かれる。ミステリアスな水や炎の表現に優れており、話を追うより、ただ陶然と眺めていたような映画だ。

【クレジット】

監督	ジャン・ルノワール	Jean Renoir
製作総指揮	ジャック・J・グロス	Jack J. Gross
原作	ミッチェル・ウィルソン	
脚本	ジャン・ルノワール	Jean Renoir
	フランク・デイヴィス	Frank Davis
潤色	マイケル・ホーガン	Michael Hogan
撮影	ハリー・ワイルド	Harry Wild
音楽	ハンス・アイスラー	Hanns Eisler
出演	ジョーン・ベネット	Joan Bennett
	ロバート・ライアン	Robert Ryan
	ウォルター・サンド	Walter Sande
	チャールズ・ピックフォード	Charles Bickford